

今川公園 好循環通信

vol. 7 【まだまだ続く好循環！

】

前号でも紹介しましたが、寒い時期に切り出した竹は丈夫で、いろいろな道具や竹垣などの材料になります。この時期今川公園では各種の竹垣の改修を行っています。一つ目は「魚々子垣」（ナナコガキ）で細く割った竹を波のように並べた簡単な柵です。



林床を保護して、これから芽吹く野草を保護するため、立ち入り制限の簡易な柵です。

二つ目は「竹穂垣」（タケホガキ）で間伐した竹の穂先を束ねて並べた垣根で、京都大原の竹林の囲いや、哲学の小道沿いなどでもみられる野趣あふれる自然風の垣根です。



今川公園 指定管理者 緑とコミュニティーグループ